その学芸員が、

天草の歴史や自然などに関する

"イチオシ"

を紹介します。

文化課

圭

天草市には、考古学や古生物学などの専門的知識を持つ学芸員がいます。

そめつけからこもんみずさし **染付唐子文水指** (上田資料館) 文化3(1806)年製



18世紀に始まった高浜窯は天草陶磁器 の歴史の中でも最も重要な窯跡の一つで、 天草町高浜の上田資料館には同窯で焼かれ た高浜焼の作品が多数展示されています。

この唐子文水指は、高さ約20cm、口径 約16cmの筒型の磁器で、唐子模様が描か れていますが、ゆがみや釉薬の流れもある 作品です。底には「文化三年 天草産」と あり、年号が書かれた高浜焼としては最古 のもの。水指は、茶の湯(茶道)において 茶釜につぎ足す水などをためる器で、高浜 焼では他にない貴重なものといえます。

この時当主であった上田宜珍が文化3年5月1日に書いた日記に 「水指少し不出来にござ候えども、焼き直し 候 間もござ無く 候 」と 書かれています。当時、天草を治めていた島原藩から茶の湯水指の製作 を頼まれすぐに作らせましたが、出来栄えはいまひとつでした。しかし 焼き直す暇もなく献上したことが読み取れます。この日記以外に茶の湯 道具を製作・献上した記録はないため、この水指は、献上した水指の予 備だったと考えられます。

文化3年5月は、前年に潜伏キリシタン発覚事件「天草崩れ」が発生 し、調査後の幕府の裁定を待っていた時期でした。献上した水指は、穏 便な処置を望む宜珍が島原藩の機嫌を取るための重要な贈り物であった と推測されます。

上田資料館に展示されていますので、ぜひ見学してみてください。

子芸員の

中村 隆二 さん (一社)デジタルアート天草

神奈川県出身。前職はパソ コン修理業で、独学でCGに ついて学ぶ。

趣味はゲームとツーリング。 令和5年11月から協力隊員。



▲ CG の体験講座で、採取した化石 をスマホで3Dスキャン

CGの魅力を多くの人に伝えたい

きに、 じてい 応募しました。 な自治体の情報を収集して つ かすことができ、 いて知りました。 ての制度が充実していると感 天草市の協力隊員募集につ たこともあり、 熊本県が移住に CGの知識を活 協力隊員に いたと

わせフォ・ ジタルア てのアンケー 映像などの制作会社の誘致と、 んでいます。 業務では、主にゲ 企業誘致では、 ームから企業誘致につい致では、企業のお問い合 トを送り、 0) 人材育成に取り組 ムやアニメ、 e b 面 デ

> う O

談を経て天草市へ視察に来てもら

みながら、市民の皆さんにCG

も天草での生活を楽し

ケテ

魅力を伝えていきます。

ます。 り、 グという方法で誘致を行ってお 主にWeb面談を担当して

元々移住に興味があり、

いろん

後は、 することになっているので、 きはとてもうれしかったです。 とい きっかけにCGに興味を持ち、「こ 講座を行っています。この講座を な授業をつくっ 生徒に興味を持ってもらえるよ からも継続してやってみたい う子どもが出てきてくれたと 中学生向けにCGの授業を 7 き た いで 今

れ

人材育成では、 市民向けのCG

自分の持っている最大限の力を高校生に

て、

語が多く、 良いのでやりがいを感じて が高い生徒が多く、 てくれるなど、学ぼうとする意欲 からないところは積極的に質問 ように教えるのは大変ですが 高校生でも理解できる 授業の反応も

悪いところは改善して

自分が持っている力

容に興味を持っ を考えてい 2年間学びました。 学校に進学し、 市の協力隊員募集の話を聞き、 高校卒業後、 たとき、 とき、先生から天草 3DCGについて で業後の進路 でザイン系の専門

当しています。 G系列で講師や講師補助をして 授業で使う資料作りなども担 CGは専門的な用 たので応募しまし 天草工業高校の 内 分 頑張ります を最大限生徒に伝えられるように 取り組み、 運転していて気持ちが良 許を取得しました。天草の道は運 転しやすく、 いきながら、 まずは今年1年間全力で授業に

海がきれ

いなの

見ることができるようになり、 で気付かなかった新し えるというタイプではなかっ 私自身、 したら生徒に伝わるかなど常に 実際に教えてみて、 までは人に何か い視点か 今

考えるようになりま 天草に来て5カ月。 今年運転免 たを教 ら

かわの そうしろう **河野 颯詩郎** さん

配属先(一社)デジタルアート天草

一 プロフィール -

趣味はゲームと音楽。 令和6年5月から協力隊員

熊本市出身。デザイン系の 専門学校でCGについて2年

▲アヒルのイラストから3Dモデル を作成する授業

理 見どころ図鑑







かつぱ像(栖本町)

河童伝説が残る栖本町には、河童がすめるような自然 環境を守り続けようと、平成8年頃から町の至る所に 「かっぱ像」が設置されています。

県道34号線(松島馬場線)は、通称「かっぱ街道」 と呼ばれ、笑顔の河童や親子河童、かっぱ大王など、多 くのかっぱ像が立ち並んでいます。また、町の中央を流 れる河内川は、地域の人の清掃活動により、今でも河童 がすめるような環境が保たれています。



本渡方面から栖本トンネルを抜けると、町のシン ボルとして親子河童がお出迎え!

市政だより天草 No.354

取り組む「地域おこし協力隊」。本市で活動する隊員を紹介します。 地域の皆さんと一緒になってまちづくりや地域にある資源の活用

30